

パートナーイベント SKIP シティ国際 D シネマ映画祭 2015

名称：SKIPシティ国際Dシネマ映画祭 2015
会期：2015年7月18日～7月26日
会場：SKIPシティ/このすシネマ/彩の国さいたま芸術劇場
主催：埼玉県/川口市/SKIPシティ国際映画祭実行委員会/特定非営利活動法人さいたま映像ボランティアの会
共催：このすシネマ/(公財)埼玉県芸術文化振興財団
後援：総務省/外務省/経済産業省/文化庁/(一社)日本映画製作者連盟/(一社)映画産業団体連合会/
(公財)ユニジャパン/(一社)外国映画輸入配給協会/(公社)映像文化製作者連盟/
(一社)日本映画テレビ技術協会/(一社)日本映画テレビプロデューサー協会/協同組合日本映画監督協会/
協同組合日本映画撮影監督協会/協同組合日本映画製作者協会/全国興行生活衛生同業組合連合会/
生活衛生同業組合埼玉県映画協会/(一財)デジタルコンテンツ協会/特定非営利活動法人映像産業振興機構/
NHK/テレ玉/FM NACK5/埼玉新聞社/アイルランド大使館/オランダ王国大使館/キューバ共和国大使館/
セルビア共和国大使館/ハンガリー大使館/在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本/メキシコ大使館/
レバノン大使館

対象：映画ファン、文化・芸術好き、高齢者

来場者数：9,375人(映画鑑賞者数)、54,810人(総来場者数：イベント等も含む)

■内容

12回目を迎えたSKIPシティ国際Dシネマ映画祭2015は、7月18日(土)～26日(日)の9日間にわたり開催。映画祭のメインであるコンペティション部門の上映をはじめ、関連企画やイベント等も多数開催されました。

2015年のオープニング上映では、過去本映画祭に2回ノミネート経験のある福山功起監督が、川口市を舞台にある“家族”の形を描いた『鉄の子』を上映。映画祭実行委員会が主体となって制作された本作の上映には、福山功起監督をはじめ、出演の田畑智子さん、裴ジョンミョンさん、スギちゃん、佐藤大志さん、舞優さんが舞台挨拶に登場。映画祭の幕開けを華やかに彩りました。

コンペティション部門には世界74の国と地域から長編部門469本、短編部門134本、アニメーション部門81本の計684本の応募がありました。その中から厳正な審査によって選ばれた長編部門12本、短編部門12本、アニメーション部門14本を会期中に各2回上映。国内外から監督やプロデューサー、出演者らゲストも多数来場、上映後のQ&Aや舞台挨拶に登壇し映画祭を盛り上げました。

また2015年の新企画のひとつとして、より多くの方に映画祭を楽しんでいただくため、このすシネマ(鴻巣市)、彩の国さいたま芸術劇場(さいたま市)の2ヶ所でサテライト上映を開催。短編部門のノミネート12作品を2日間にわたり上映しました。

その他にも、毎年恒例となったシネマ歌舞伎、バリアフリー上映、「アニメDAY」、関連企画も多数行われ、「Go-all」プロジェクト第3弾として制作されたオムニバス映画『4/猫-ねこぶんのよん-』の上映も行われました。

コンペティション各賞は、長編部門でキューバ作品『ビヘイビア』がグランプリを受賞、短編部門は『わたしはアーティスト』、アニメーション部門は『夢かもしれない話』がそれぞれ最優秀作品賞を受賞しました。